

Canon MC

MCクォーツデート



MC10



日本語版

使用説明書



●各部名称はP.34にもありますので、開いてご覧ください。

② フィルム枚数計

① シャッターボタン

⑫ ストラップ
取り付け部

⑪ フィンガーグリップ

⑩ フロントカバー

⑧ フィルム感度
表示窓

⑨ フィルム感度セットダイヤル

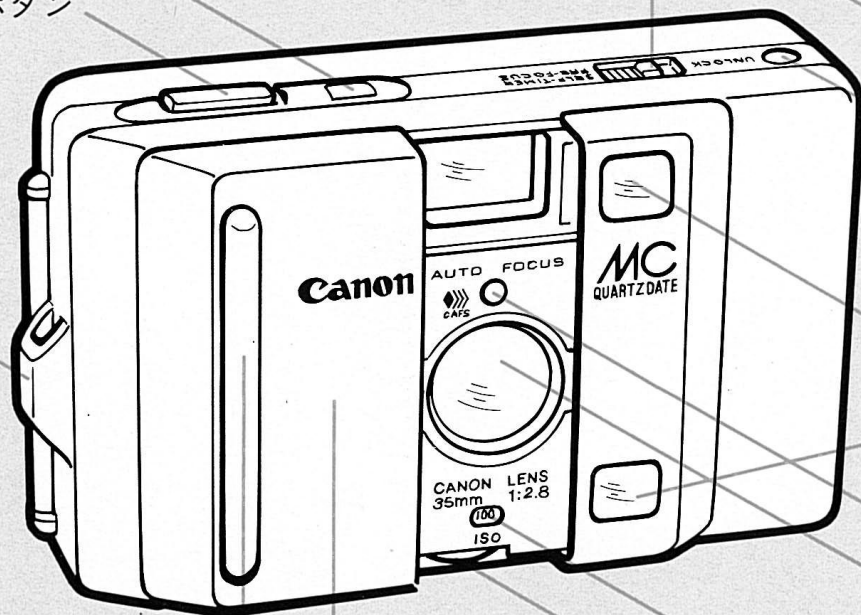
③ プリフォーカス兼※
セルフタイマー
スイッチ

④ ストロポ取り
外しボタン

⑤ 測距窓※

⑥ 受光窓

⑦ レンズ
表示窓



●※印はキヤノンMC10にはありません。

キヤノンMCクォーツデート／キヤノンMC／キヤノンMC10はピン
ト合わせ不要の超コンパクトカメラであると同時にフィルムの装て
ん・巻き戻しの完全自動化など、数多くの特長を盛り込んだカメラ
です。しかも「カメラの目」であるレンズは、理想のレンズと言わ
れている非球面レンズを採用していますのでどなたでも手軽に美し
い写真を撮ることができます。

(さらにキヤノンMCクォーツデートは、楽しい思い出をより鮮明に
するオートデート機構を内蔵しています。)

この使用説明書のイラストは、キヤノンMCクォーツデートをモデルにして描い
てありますが、使用方法はキヤノンMCおよびキヤノンMC10も同じです。

●目次

	ページ
自動巻き戻し	19
途中巻き戻し	20
ストロボ撮影	21
デート機構について	24
・表示窓について	26
・撮影について	27
・電池交換	28
ストラップについて	30
ご注意	31
主要性能一覧	32
操作早手順	6
電池の入れ方	7
フロントカバーの開き方	8
電池のチェック	9
フィルム感度の合わせ方	10
フィルムの入れ方	11
撮影について	14
・プリフォーカス撮影	16
・セルフタイマー撮影	18

操作早手順

(詳しくは本文をお読みください)

1 電池を入れます

2 フロントカバーを開きます

3 電池のチェックをします

4 フィルム感度をセットします

5 フィルムを入れます

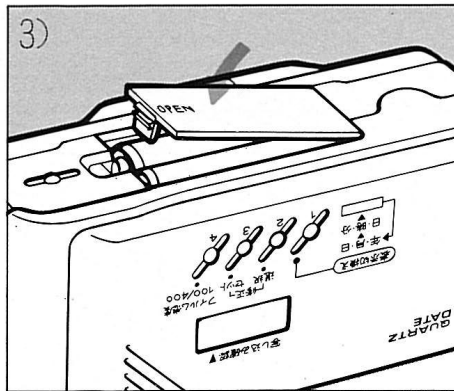
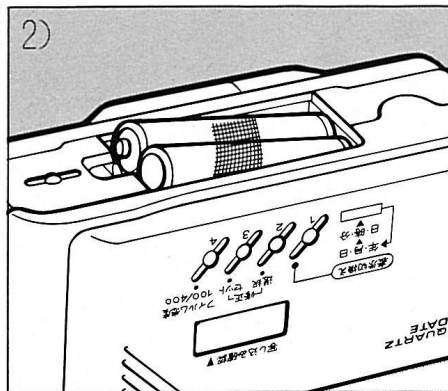
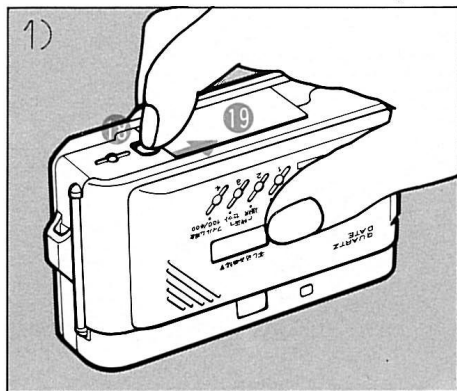
6

撮影です

- キヤノンMCクォーツデート/MC……ファインダー内のオートフォーカスフレームを撮りたいものに合わせます。
- キヤノンMC10……ファインダーに撮りたいものを入れます。
- 軽くシャッターボタンを押してファインダー内で赤ランプ(手振れ警告ランプ)が点滅しなければさらに深く押して撮影します。
赤ランプが点滅したら、専用ストロボ キヤノンMC-Sを使用してください。

7

フィルムは終了すると自動的に巻き戻されます



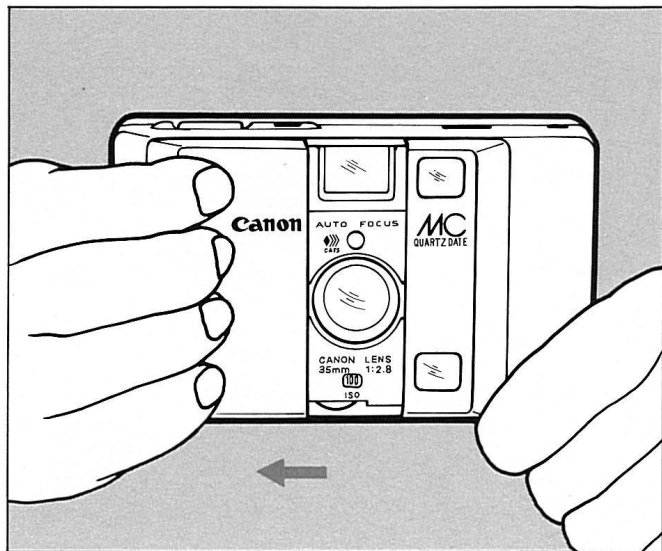
このカメラは電池を入れないと動きません。カメラ本体用として同一銘柄で新品の単4形アルカリマンガン電池を2本ご用意ください。

- 1)電池室カバーを取り外します。
カメラ底部の電池室カバー着脱つまみ⑱を矢印方向に押しながら引き上げ、電池室カバー⑲を、取り外します。
- 2)電池を入れます。
電池室内の表示に従って+-の方向を間違えないように入れます。
- 3)電池室カバーを取り付けます。
電池室カバーの先端を図のように差し込み、次にカバーを押し付けます。

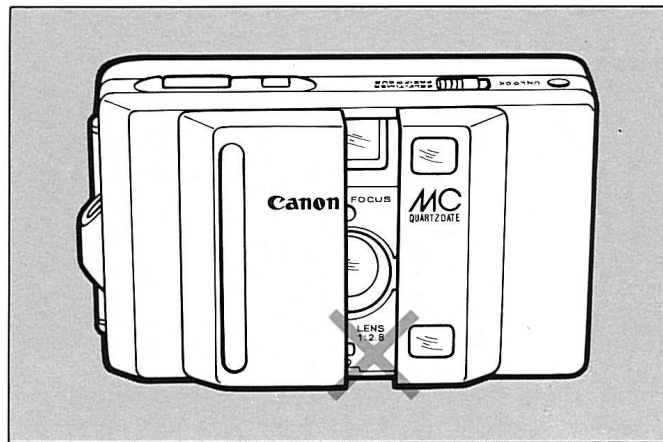
※Ni-Cd電池は、使用できません。

電池を入れます

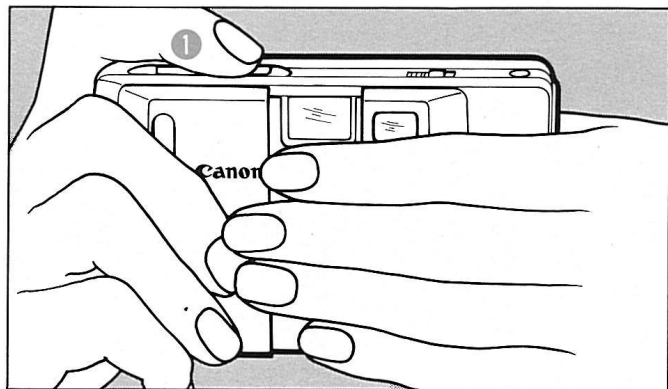
フロントカバーを開きます



フロントカバー⑩を図の矢印方向一杯に、「カチッ」と音がするまで開けます。



◆フロントカバーを完全に開けないとシャッターは切れません。

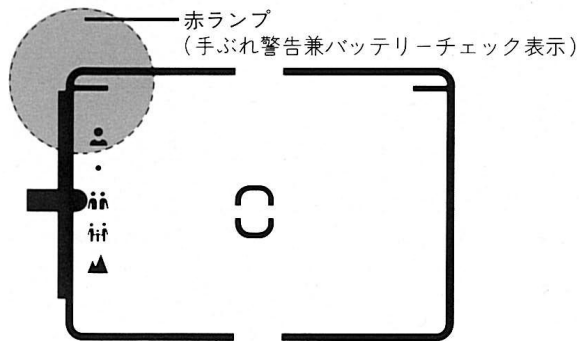


受光窓⑥を手でおおい、シャッターボタン①を軽く押します。ファインダー⑮をのぞき、左上に赤ランプが点滅すれば、電池電圧はOKです。

撮影可能本数（常温20℃、新品アルカリマンガン電池使用時）

24枚撮りフィルム 約30本

※マンガン電池も使用できますが、撮影本数は少なくなります。

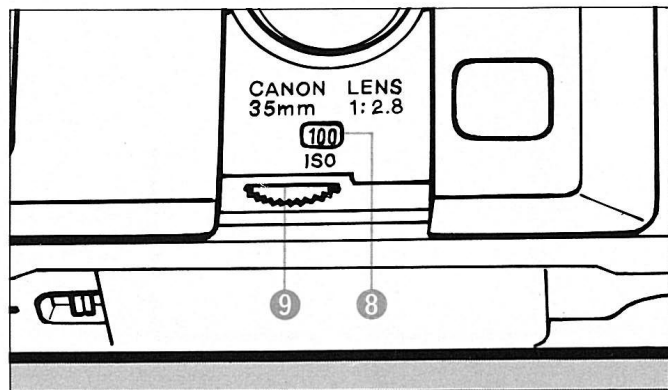


※電池は2本とも同一銘柄の新品をご使用ください。

◆電池性能は、低温下（0℃以下）では非常に低下します。寒冷地でご使用になるときは予備の電池を用意し、ポケットなどに入れて保温しながら交互にお使いください。なお、低温下で低下した電池性能は常温に戻ると復元しますので、捨てないでください。

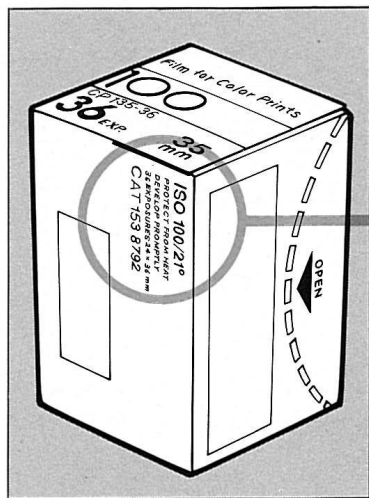
電池のチェックをします

フィルム感度をセッ
トします

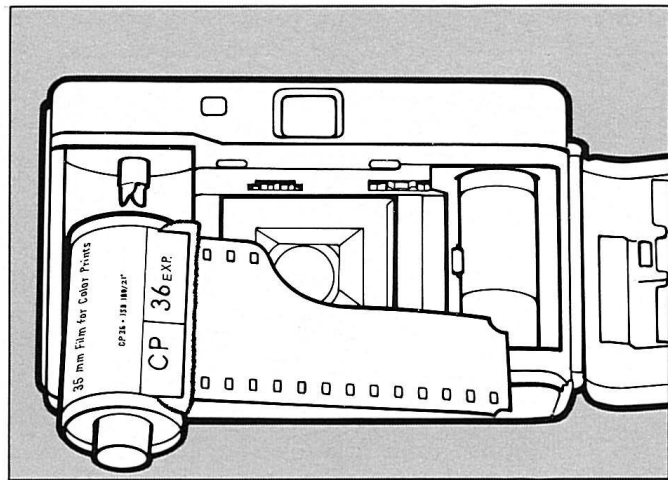
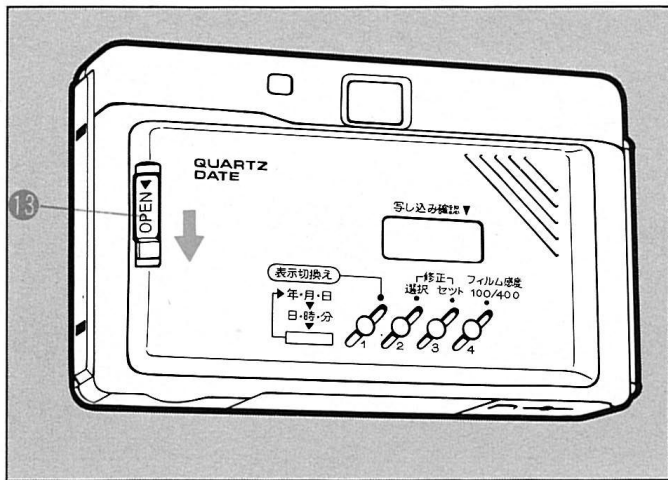


フィルム感度セットダイヤル⑨を回し、フィルム感度表示窓⑧に、使用フィルムの感度数値をセットします。

フィルム感度は、フィルム外箱に表示してあります。



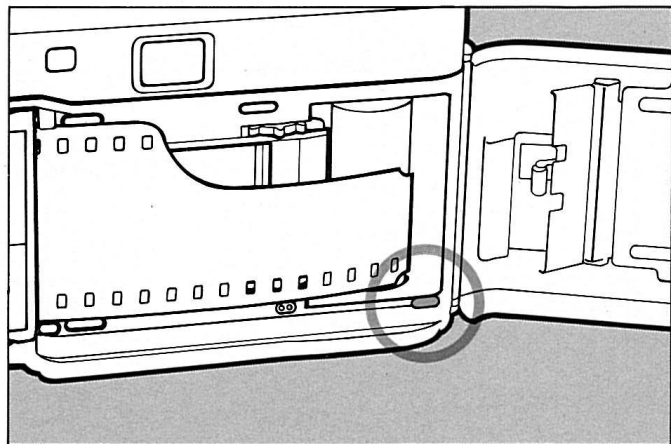
感度数字は次のようになっています。
64, 100, 200, 400, 1000



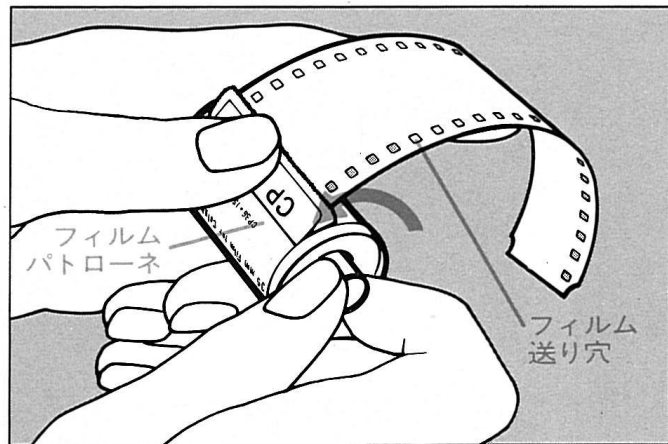
- 1) 裏蓋を開けます。
裏蓋開放ノブ⑬を矢印方向に下げて、裏蓋⑬を開きます。

- 2) フィルムを入れます。
フィルムを図のようにして入れてください。

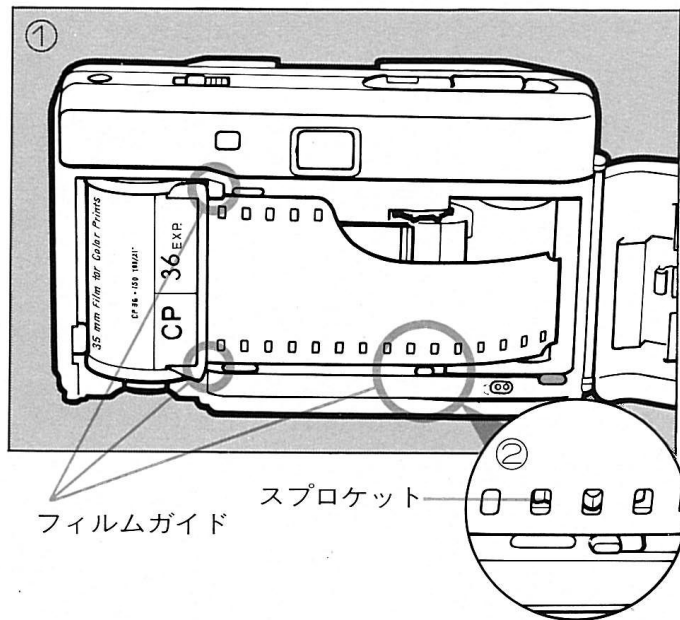
フィルムを入れます



3) フィルム先端がフィルム室右下のオレンジ色マークに合うように、フィルムを引き出します。

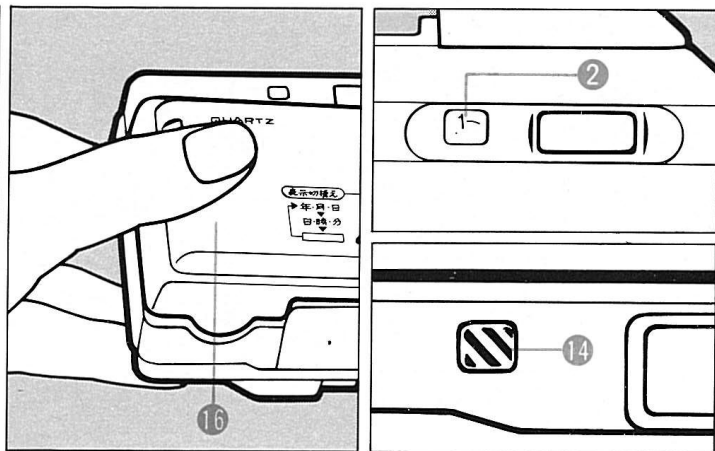


◆ フィルム引き出し部分が長いものはパトローネに少し巻き戻し、オレンジ色マークに合うよう長さを調節してください。



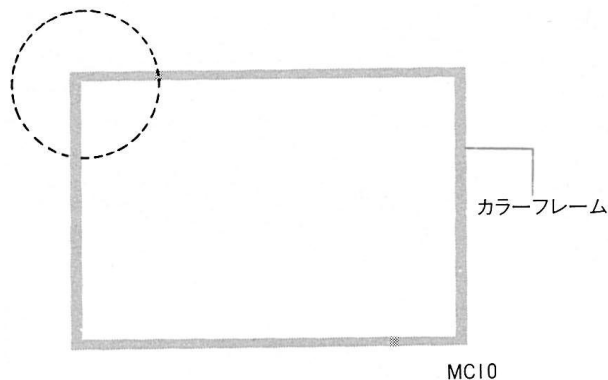
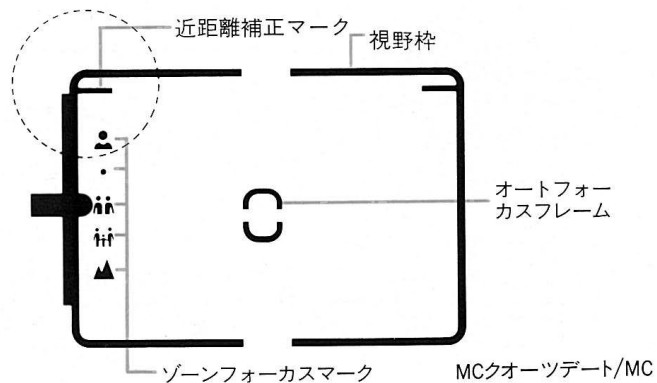
フィルムガイド
 スプロケット

4) ①フィルムが、フィルムガイドの間にあること、②フィルム送り穴に、 sprocketが入っていることを確認し、裏蓋⑬を閉じます。



裏蓋を閉じると同時にフィルム枚数計②は「1」まで自動空送りし、撮影準備完了となります。
 ◆フィルムが正しく送られているときは、フィルム送り確認窓⑭のしま模様がチラチラ動きます。動かない場合はもう一度裏蓋を開け、フィルムを正しく入れ直してください。

フィルムを入れます



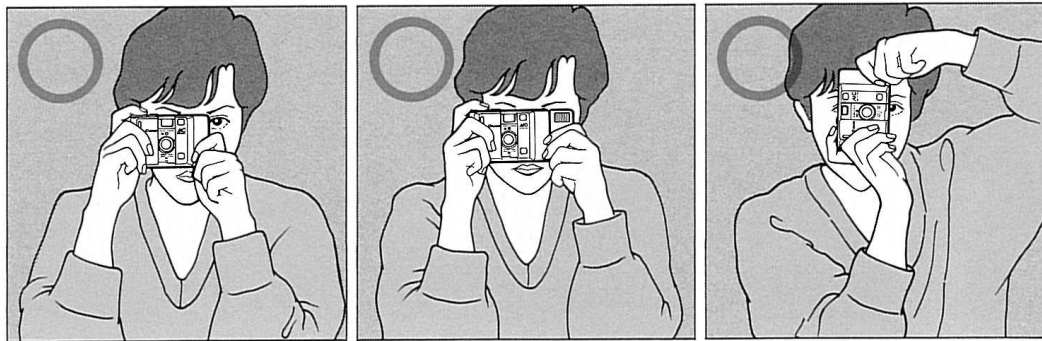
1) キヤノンMCクオートデート/MC……ファインダー⑮をのぞき、オートフォーカスフレームを撮りたいものに合わせます。

◆0.9～1mまでの撮影では、近距離補正マーク内で構図を決めてください。

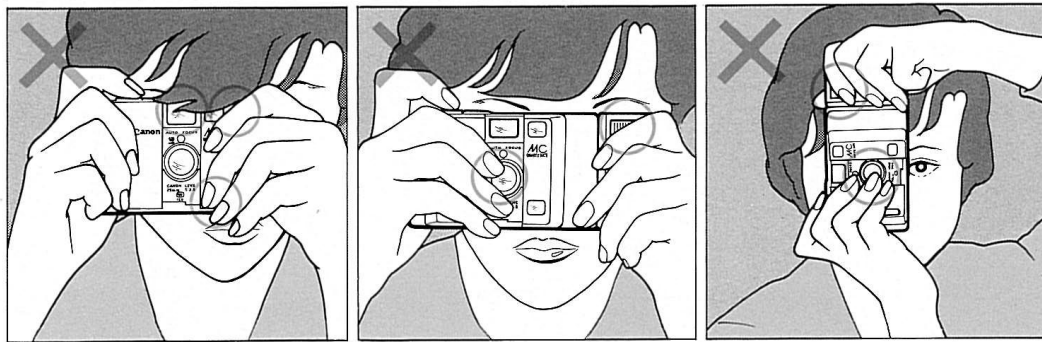
キヤノンMC10……ファインダー⑮をのぞき、構図を決めます。なお構図を決める際は、ファインダーの縁の薄い青色(カラーフレーム)が均等に見えるようにのぞいてください。

- 2) シャッターボタン①を、軽く押します。
 ファインダー内に赤ランプが点滅しなければ、さらに深く静かに押して撮影します。
 ※赤ランプが点滅した場合は、手振れに注意して撮影するか、専用ストロボ「キヤノンMC-S」を使用して撮影ください。(詳しくは、P.21のストロボの項をご覧ください。)
 ※撮影できる範囲はキヤノンMCクオートデート/MCは0.9m～∞、キヤノンMC10は1.5m～∞です。

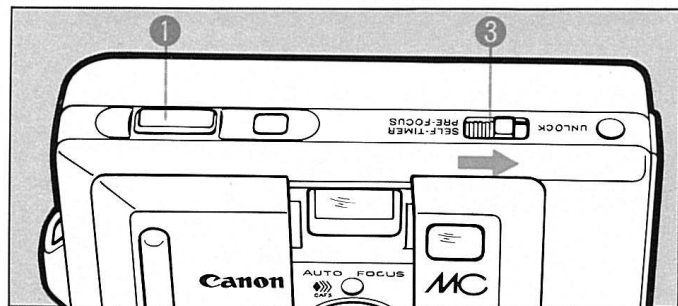
◆カメラを構えるときは、一方のひじを軽く体につけます。



◆カメラ前面の測距窓⑤, レンズ⑦, 受光窓⑥, ストロボなどを指や髪などでおおわないでください。



キヤノンMC10はプリフォーカス撮影およびセルフタイマー撮影はできませんので、P.19の「自動巻き戻し」の項へおすすみください。



構図によってピントを合わせたいものがオートフォーカスフレームから外れてしまいますがその場合はプリフォーカススイッチ③を利用して撮影します。

- 1)プリフォーカススイッチ③（セルフタイマー兼用）を矢印方向に止まるまで、スライドさせます。
- 2)ファインダーをのぞいて、オートフォーカスフレームを撮りたいものに合わせ、「カシヤッ！」と音がするまでシャッターボタン①を押します。

これでカメラが距離を記憶しました。(イラストA) このとき、ゾーンフォーカスマークの指標で距離を確認できます。

- 3) シャッターボタン①から指を離します。
 4) 撮りたい構図に戻し、もう一度シャッターボタンを押して撮影します。(イラストB)
 ◆3)の操作後そのままにしておくと10秒たつとシャッターが切れます。(セルフタイマースイッチ兼用のため)
 ◆2)の操作をする前であれば、スイッチを指で戻すことにより、プリフォーカスを解除することができます。操作後スイッチを戻した場合には、シャッターが切れますのでご注意ください。

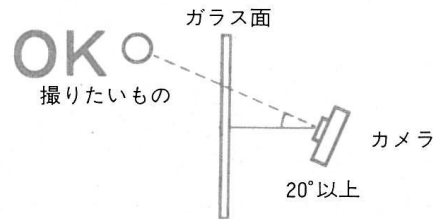
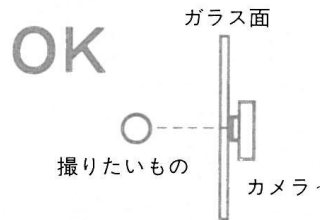
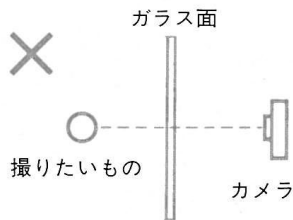
◆写すものによって、オートフォーカス機構が正しく働かないことがあります。

<例>

- 1) 光沢のあるもの (車のボディ等)
- 2) 反射しにくいもの (黒い髪等)
- 3) ガラス越しのもの

●光沢のあるもの、反射しにくいものを撮るときは、ほぼ等しい距離にある別のものを利用し、プリフォーカス撮影を行ってください。

●ガラス越しのものを撮るときは、ガラスに密着して撮るか、ガラスに対し斜めに撮影してください。(下図参照)

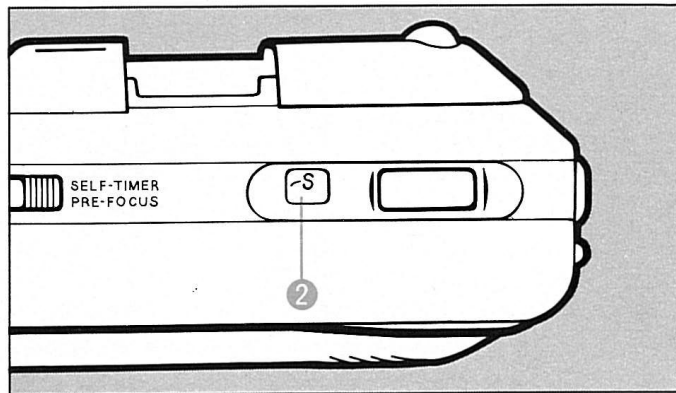




撮影者自身も写真に写りたいときは、セルフタイマーをご利用ください。

- 1)セルフタイマースイッチ③（プリフォーカススイッチ兼用）を、矢印方向にスライドさせます。
- 2)ファインダー⑮をのぞき、中央のオートフォーカスフレームを撮りたいものに合わせシャッターボタン①を押します。指を離してから約10秒後にシャッターが切れます。

- ◆カメラは安定した場所に置いてご使用ください。
- ◆シャッターボタンを押す前ならセルフタイマーは解除できます。解除するときはセルフタイマースイッチ③を押し戻してください。シャッターボタンを押した後は押し戻さないでください。(P.17のプリフォーカスの項参照)
- ◆セルフタイマーの作動は撮影後の巻き上げ音で確認できます。



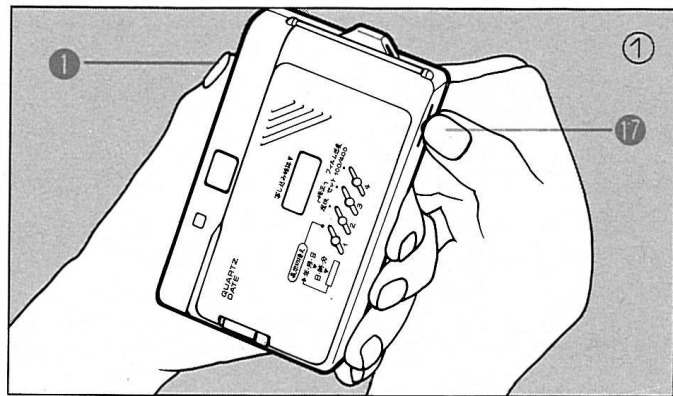
1)このカメラはフィルムが終了すると、自動的にフィルムが巻き戻されます。

◆この時フィルム枚数計②は連動逆算、フィルム送り確認窓⑭のしま模様も連動し、チラチラ動きます。

※フィルムの規定枚数以上撮影すると、最後のコマは現像処理でカットされることがあります。

2)裏蓋⑯を開いて、フィルムを取り出します。

◆巻き戻し終了後、裏蓋を開けるときはフィルム枚数計②が「S」になっていることを確認してください。



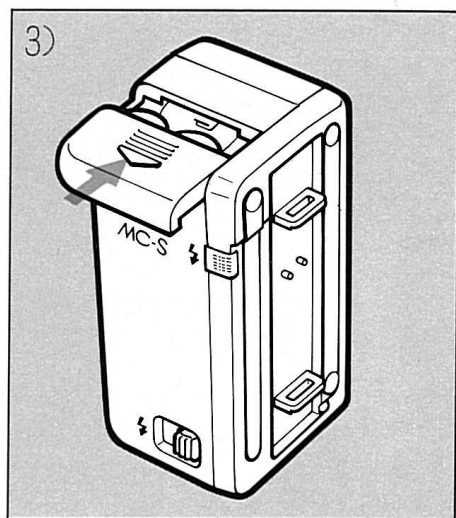
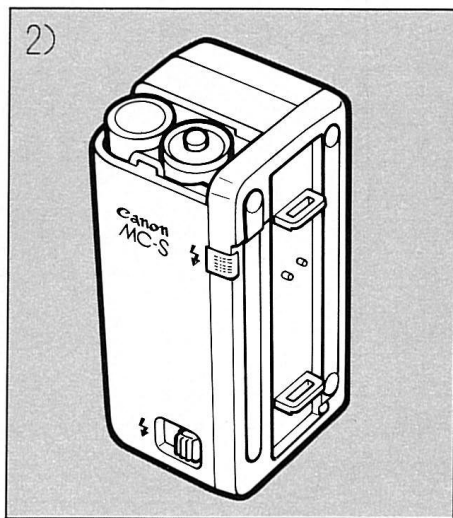
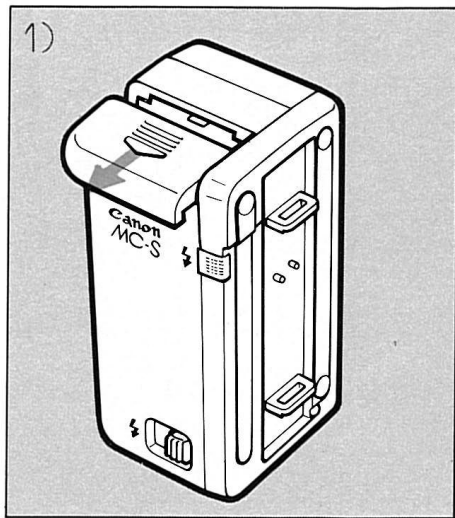
規定枚数を撮り終える前に、途中で巻き戻す場合は、次の順で操作します。

- 1) ボディ底部にある途中巻き戻しボタン①7を押したまま(イラスト①), シャッターを1回切りシャッターボタン①から指を離します。(イラスト②)



- 2) 巻き戻しが行なわれていることを確認した後、途中巻き戻しボタンから指を離します。以後は、自動巻き戻しに準じます。

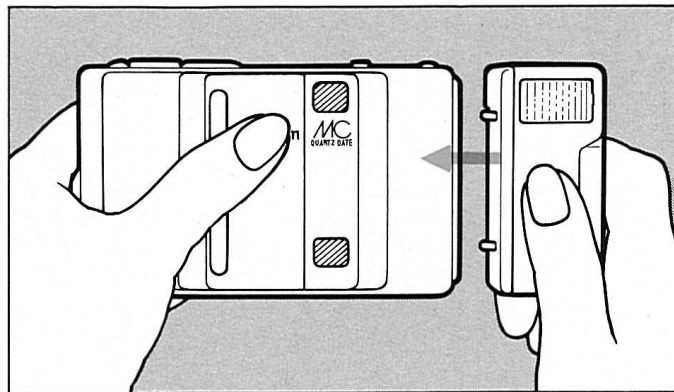
- ◆ シャッターボタン①から指を離す前に、途中巻き戻しボタン①7の指を離すと通常の自動巻き上げとなりますので、ご注意ください。
- ◆ 途中巻き戻しは、フロントカバーを開けた状態でないと操作できません。



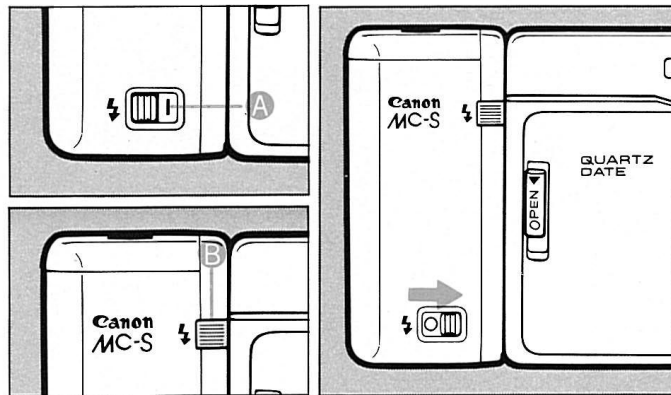
- 1) 図のように電池室蓋を矢印方向に開けます。
2) +を間違えないようにして単4形アルカリマンガン電池を入れます。

◆マンガン電池も使用できますが、発光回数が少なくなります。

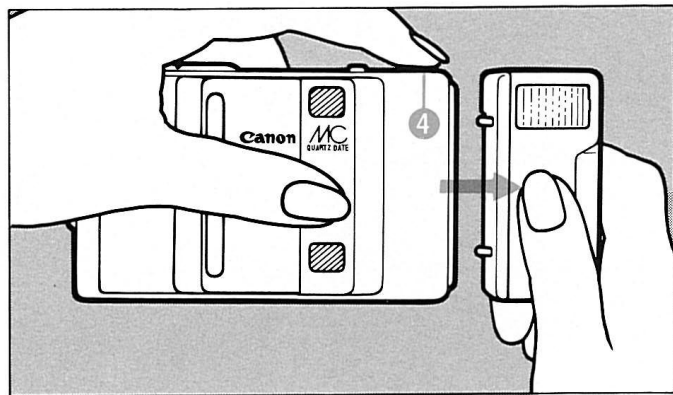
- 3) 電池を押し付けるようにして、蓋をスライドさせ閉めます。



- 4) スピードライトMC-Sをカメラに押し付けながら取り付けます。ストロボ取り外しボタン④が沈んだままのときは、完全に取り付いていません。ご確認ください。
- 5) メインスイッチAをON(赤色「I」印)にします。
- 6) パイロットランプBがついたことを確認します。
- 7) 撮りたいものにカメラを向けて撮影します。
- ◆パイロットランプがつく前にシャッターボタンを押すと光量不足の暗い写真になります。



- 8) ストロボ撮影終了後は、メインスイッチを、必ずOFF(黒色「O」印)にしてください。
- ◆長期間使用しないときは、電池を抜き取って保管してください。
 - ◆電池は2本とも同一銘柄の新品をご使用ください。
 - ◆寒冷地では電池を保温して使用してください。

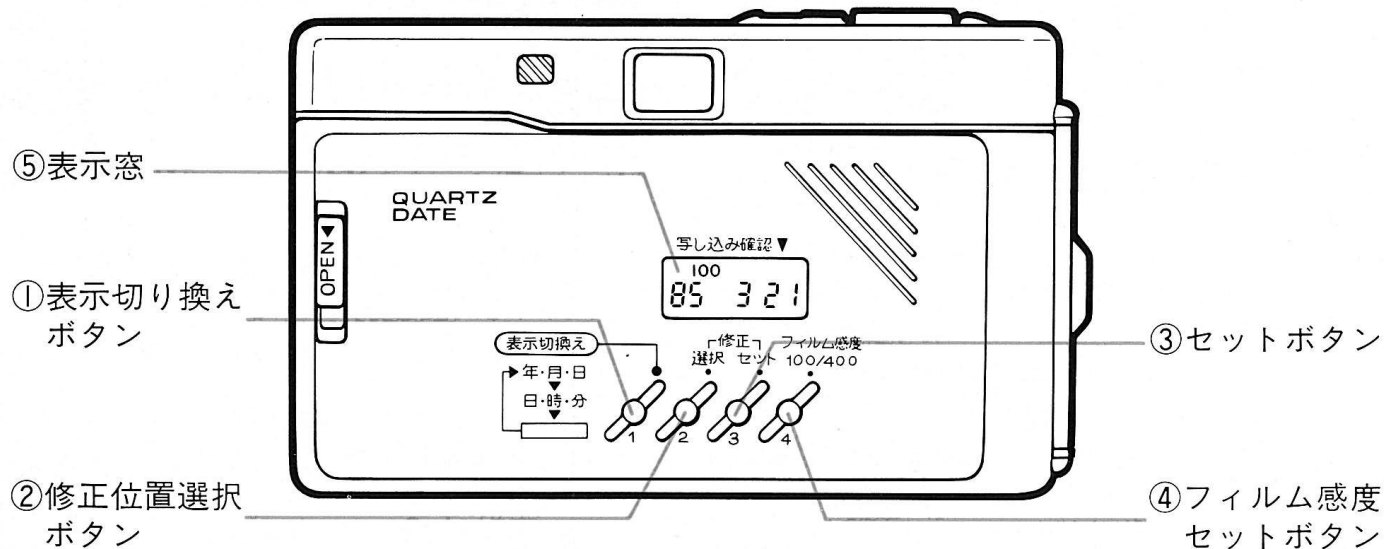


- ◆室内窓際など逆光の時や、木かげ・夕方などの撮影で、写される人の顔が暗くなってしまう場合にも、ストロボ撮影によってきれいな写真を撮ることができますので、ご利用ください。
約3m以内で使用すると効果があります。

- 9)ストロボを取り外す場合は、図のようにカメラ本体上部のストロボ取り外しボタン④を押しながら、ストロボを本体から離します。
- ◆このストロボの連動範囲は、キヤノンMCクオートデート/MCで0.9～4m、キヤノンMC10で1.5～3.5mです。(ネガカラーフィルム使用時)

ここからは、キヤノンMCクォーツデートのデート機構
(日付け写し込み機構) の説明です。

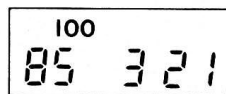
デート機構



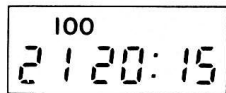
キヤノンMCクォーツデートは2019年12月31日
までの日付けを記憶しているクォーツ制御の
オートカレンダーが組み込まれていますので、

撮影のたびにデートをセットする必要はあり
ません。また一度時間をセットすれば、その
まま正確な時刻を写し込むことができます。

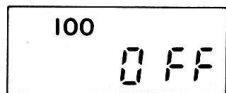
表示について



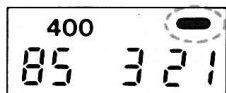
- <年・月・日>表示 (例 1985年3月21日)



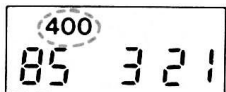
- <日・時・分>表示 (例 21日20時15分)



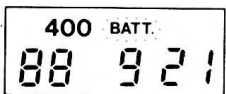
- OFF表示 (写し込みが行われません)



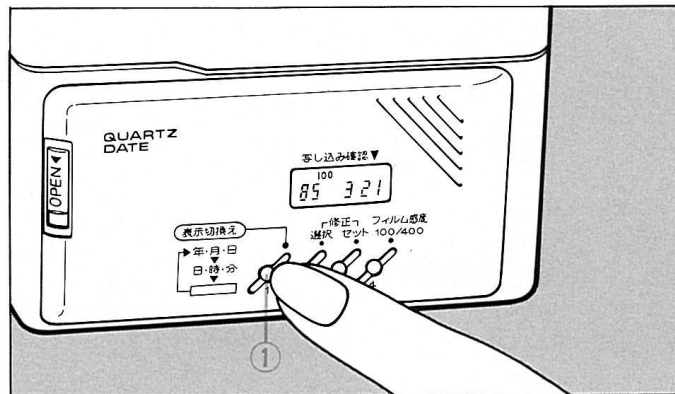
- 写し込み確認表示(写し込み確認マークが撮影後約1.5秒間点灯します)



- フィルム感度表示 (100または400を表示します)

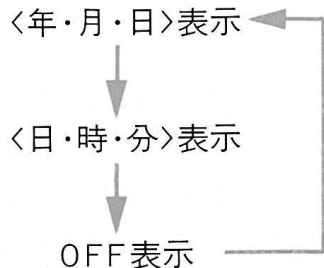


- 電池交換表示 (“BATT.” が点滅したら電池交換の警告です。すみやかにデータ用電池を交換してください)



1. 表示切り換え

表示切り換えボタン① (P. 24参照) を押すたびに、次のように表示が変わります。



2. 日付け・時刻の修正

<年・月・日>表示のとき

- 修正位置選択ボタン②を押すたびに、日、月、年の表示が順に点滅し、さらにもう一度押すと通常の点灯表示に戻ります。
- 修正する日、月、年の位置が点滅したら、セットボタン③を押してセットします。

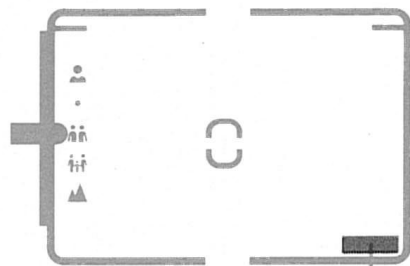
<日・時・分>表示のとき

- 修正位置選択ボタン②を押すたびに、コロン(:), 分, 時の表示が順に点滅し、さらにもう一度押すと通常の点灯表示に戻ります。
- 修正する分, 時の位置が点滅したら、セットボタン③を押してセットします。

■修正位置が点滅しているとき、セットボタンを押すたびに数字がひとつずつ進みます。また、押し続けると数字が連続して変わり早送りされます。

☆正確な時刻の合わせ方

- 1) 表示切り換えボタン①を押して、日・時・分表示にセットします。
 - 2) 修正位置選択ボタン②を押して、コロン(:)点滅状態にします。
 - 3) 電話・ラジオ等の時報に合わせて、セットボタン③を押すと0秒からスタートします。
- 秒を合わせてから分を合わせることをおすすめします。
 - 海外旅行の際は時差がありますので、現地の日付け・時刻に合わせてください。



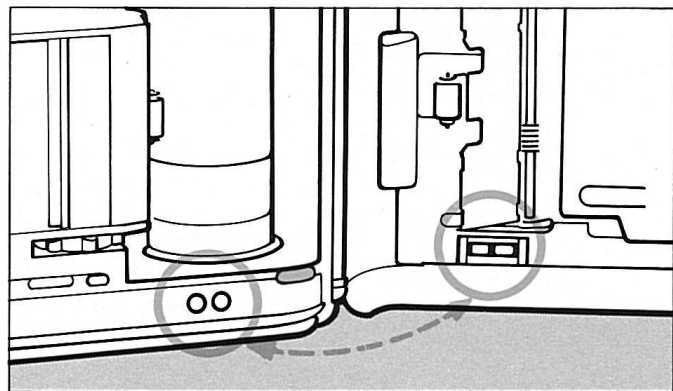
写し込み位置

撮影前に使用フィルムの感度を確認し、フィルム感度セットボタン④を押してセットしてください。

ISO 64と100は100にセット

ISO 200と400と1000は400にセット

- デートは上図の位置に写し込まれます。
- 写し込み位置に明るいものがあると日付けや時刻の数字が読みにくくなります。また、カラーフィルムの場合、数字はオレンジ色に発色しますので、オレンジ系のものが写し込み位置にあると読みにくくなります。ご注意ください。



- フィルム感度表示は写し込まれません。
- 裏蓋を開けると写し込み表示全体が点滅します。裏蓋を閉じてても表示全体が点滅状態のときは、接触不良ですのでカメラ本体と裏蓋の接点をふいてください。
- 写し込み表示の一部が点滅状態のときは、写し込みは行われません。
- ISO 1000フィルム使用時、写し込まれる数字が多少にじみます。

使用電池：コイン型リチウム電池(3V)

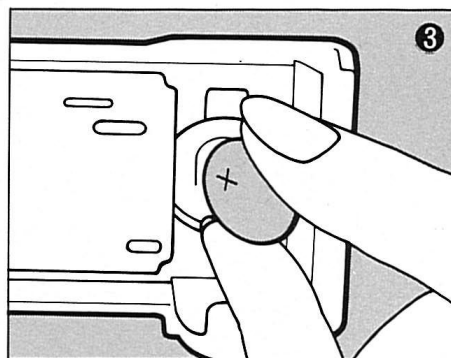
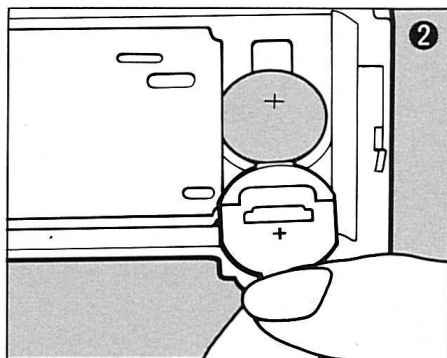
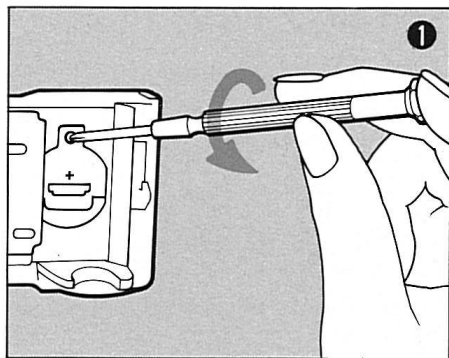
JIS CR2025

電池寿命：約4年

- 電池は出荷時にセットされています。
- 表示部に“BATT.”が点滅したら、電池を交換してください。
- 交換用の電池は幼児の手の届かないところに置いてください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

電池の交換

- 1)裏蓋を開けます。
 - 2)小型のプラスドライバーでデイト用電池室蓋を外すと、電池が外れます。(イラスト①)
- もし電池室蓋を外しても電池が外れないときは、電池室蓋の爪を用いて取り出してください。(イラスト②)



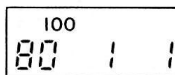
3)電池を外したのち、15秒以上たってから+、-を間違えないように新品電池を入れます。(イラスト③)(+は上、-は下)

4)デート用電池室蓋をプラスねじで止めます。
●寒冷地(-10℃以下)ではデート機構が正常に働かないことがありますので、ご注意ください。

●新品電池を入れると、約10秒以内に、

100
19 12 31

 (2019年12月31日23時59分59秒、フィルム感度100)の状態にセットされ、約1秒後

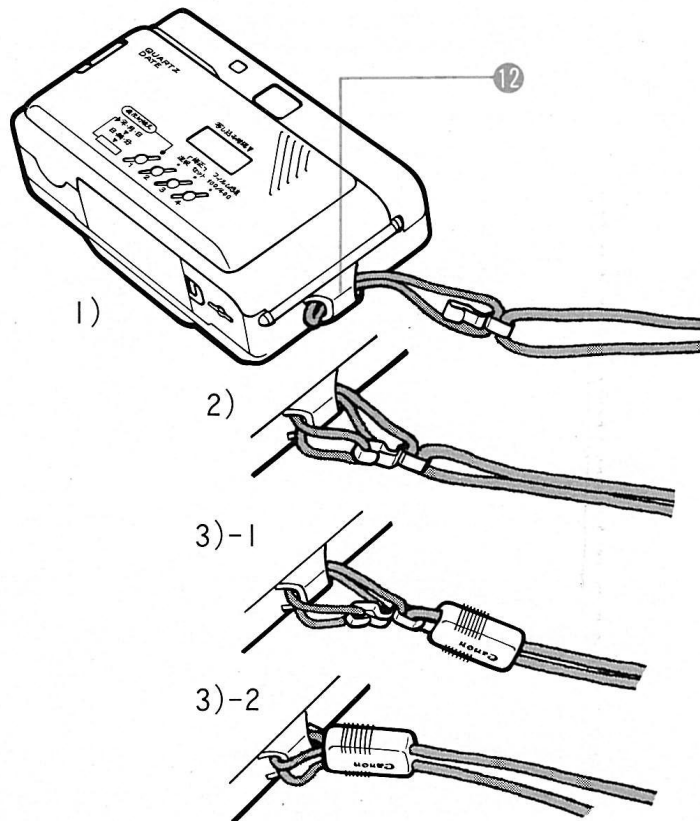


(1980年1月1日0時0分0秒)となりませので、日付けと時刻をセットしてご使用ください。

●電池交換のとき以外はデート用電池室蓋を開けないでください。

●液晶について

デート表示部と写し込み部には液晶を使用しています。液晶はその性質上、通常の使用で5年程度で表示が薄くなることがあります。その場合は最寄りのキヤノンサービスステーションで液晶の交換をご用命ください。(有料)



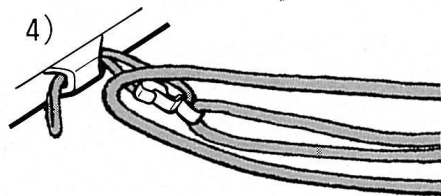
ストラップ取り付け部にストラップを通し、
図のように取り付けます。

〈ネックストラップとして使用する場合〉

- 1) ストラップの小さい輪を、カメラのストラップ取り付け部⑫に通します。
- 2) 図のように、先端を金具のフックにかけます。
- 3) 金具カバーをカメラ側へスライドさせて金具部をおおいます。
(取り外しは、逆操作を行います。)

〈リストストラップとして使用する場合〉

- またリストストラップとして使用する場合は、
2)の操作時、大きい輪を、小さい輪に回し図
4)のようにダブル掛けします。



手入れ

- ◆カメラ内にごみがついているときは、市販のブロワーブラシで吹きとばすだけにしてください。カメラ内のレンズは有機溶剤を含むクリーナーなどでふかないでください。なお、特に汚れのひどいときは、最寄りのキヤノンサービスステーションにご相談ください。

保管

- ◆カメラを長期間使用しないときは、電池を抜き取り、風通しの良い涼しく乾燥した場所に保管してください。
なお、ナフタリンや樟脳などはカメラに悪影響を与えますので、押し入れやタンスの中は避けてください。
- ◆直射日光下の車やトランクの中などは高温になり、故障の原因となることがありますので放置しないでください。

空港でのX線検査

- ◆フィルムはカメラに入っている場合でも、X線による感光は防止されませんので、フィルムの入ったカメラであることを検査官に伝えX線の照射を避けてください。

主 要 性 能

	キヤノンMCクオーツデート/MC	キヤノンMC10
型 式	35mmレンズシャッター自動焦点カメラ	35mmレンズシャッター固定焦点カメラ
レ ン ズ	キヤノンレンズ35mmF2.8 4群4枚	キヤノンレンズ35mmF4.5 4群4枚
フロントカバー	開けるとレリーズ可能, 閉じるとレリーズロック	
焦 点 調 節	アクティブ式オートフォーカス	固定焦点
撮 影 距 離	0.9m~∞	1.5m~∞
シャッター型式	絞り兼用プログラム式電磁駆動シャッター	
ファインダー	アルバタ式ファインダー	逆ガリレオ式ファインダー
	近距離補正マーク付視野枠	外周カラーフレーム(青色)
	オートフォーカスフレーム	—————
	ゾーンフォーカスマーク及び指標	—————
	手振れ警告兼バッテリーチェックランプ(赤色LED)	
プリフォーカス	あり(セルフタイマーと兼用)	—————
フィルム装てん	自動(自動空送り付き)	
フィルム巻き上げ	自 動	
フィルム巻き戻し	フィルム終了時自動巻き戻し開始, 終了後オートストップ 途中巻き戻し可能	
撮影可能本数	新品単4形アルカリマンガン電池使用(常温20℃)で24枚撮りフィルム約30本	
裏蓋開放	裏蓋開放ノブによる	
フィルム在否確認	裏蓋, フィルム在否確認による(MCクオーツデートにはなし)	
セルフタイマー	あり 10秒後にレリーズ	—————
測光作動範囲	ISO100/21°でEV6~17(F2.8 1/8秒~F16 1/500秒)	ISO100/21°でEV8~15(F4.5 1/20秒~F9.5 1/350秒)

フィルム感度目盛り	ISO 64 100 200 400 1000	
ストロボ撮影	専用ストロボキヤノンMC-Sの取り付けによる	
オートデート機構	液晶表示式 クォーツデジタルカレンダー時計内蔵	_____
時計機能	月差約2分以内	_____
電源 (本体用/デート用)	単4形アルカリマンガン電池2本使用 Ni-Cd電池使用不可/コイン型リチウム電池(3V), JIS CR2025 1個	
大きさ	106.3(幅)×64.5(高さ)×41.6(奥行)mm	
重量	255g(電池含む)	240g(電池含む)

ストロボ主要性能

	キヤノンMCクォーツデート/MC	キヤノンMC10
型式	キヤノンMCクォーツデート/キヤノンMC/キヤノンMC10専用ストロボ	
ガイドナンバー	11 (ISO100/21°)	
発光回数	アルカリマンガン電池使用で、120回以上	
発光間隔	アルカリマンガン電池使用で、8秒以下	
連動範囲	0.9~4m (ISO100/21°)	1.5~3.5m (ISO100/21°)
使用フィルム感度	カメラ本体側フィルム感度セットによる(ストロボ側なし)	
電源	単4形アルカリマンガン電池2本使用 Ni-Cd電池使用不可	
電源オートシャットオフ	メインスイッチをON(赤色「I」印)の状態、ストロボを取り外すと自動的に電源OFF	
大きさ・重量	30.6(幅)×64.5(高さ)×30.9(奥行)mm・75g(電池含む)	

15 ファインダー

14 フィルム送り確認窓

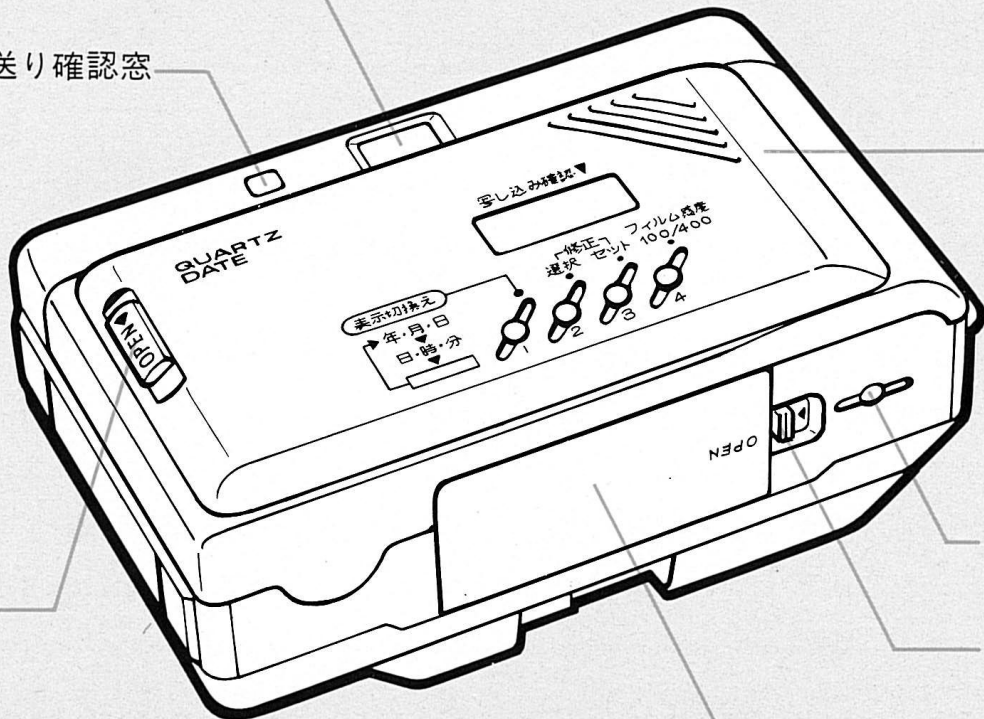
16 裏蓋

13 裏蓋開放
ノブ

17 途中巻き戻し
ボタン

18 電池室カバー
着脱つまみ

19 電池室カバー



● キヤノンMCクォーツデートのデ
ート機構の各部名称・使用法は
P.24以降に書いてあります。

アフターサービスについて

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客さまにてご負担願います。
2. 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために不可欠な部品）は、日本国内において、7年間を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の

原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましてはお買いあげ店、または、裏面の当社サービス機関にお問い合わせください。

★修理品をご送付の場合は、見本のフィルムを添付する等、修理箇所を明確にご指示の上、十分な梱包でお送りください。

Canon

キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社

〒108 東京都港区三田3-11-28

カメラ相談室 (03) 455-9353

サービスステーション

札幌・(060) 札幌市中央区北三条西4-1 (第一生命ビル4階) (011) 231-1313
青森・(030) 青森市大字浦町字奥野351-7 (東和ビル2階) (0177) 75-1666
盛岡・(020-01) 盛岡市上堂3-2-15 (工藤ビル) (0196) 46-8710
仙台・(980) 仙台市一番町1-1-30 (やまと生命仙台ビル6階) (0222) 66-4151-7
郡山・(963) 福島県郡山市開成2-38-13 (0249) 23-5618
新潟・(950) 新潟市東大通1-4-1 (マルタケビル7階) (0252) 43-2111
銀座・(104) 東京都中央区銀座5-9-9 (03) 573-7834
新宿・(160-91) 新宿区西新宿2-6-1 (新宿住友三角ビル地下1階) (03) 348-4725
本松・(390) 松本市双葉町10-22 (0263) 26-5549
横浜・(221) 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-4 (安田生命横浜西口ビル) (045) 312-0211
千葉・(280) 千葉市末広2-13-2 (0472) 61-5121
大宮・(330) 大宮市大成町2-273 (0486) 66-3930
静岡・(420) 静岡市鷹匠2-7-2 (静米会館1階) (0542) 55-2241
名古屋・(450) 名古屋市中村区名駅3-21-7 (三交ビル) (052) 563-6822
田・(530) 大阪市北区梅田1-8-17 (第一生命ビル2階) (06) 341-9335
京都・(604) 京都市中京区御池通間之町東入ル (東邦生命ビル5階) (075) 241-0216
金沢・(920) 金沢市尾張町1-11-14 (住友生命ビル2階) (0762) 32-1711
高松・(760) 高松市番町3-3-17 (第一謙機ビル1階) (0878) 33-2933
岡山・(700) 岡山市中山下1-9-40 (新岡山ビル5階) (0862) 22-8228
広島・(730) 広島市中区小町2-30 (第二有楽ビル11階) (082) 245-7791
福岡・(812) 福岡市博多区博多駅前4-20-23 (セントラルビル1階) (092) 411-4172
沖縄・(900) 那覇市泊1-2-2 (0988) 67-2106

サービスセンター

東京・(108) 東京都港区港南2-13-29 (03) 450-2731
大阪・(540) 大阪市東区森の宮中央2-10-9 (06) 941-1076

休業のご案内

(銀座、梅田・日曜日、祝日)(新宿・木曜日)(その他・土、日曜日、祝日)

PUB. C-IJ-117A
0285D3

©CANON INC. 1984
CY8-6035-001

PRINTED IN JAPAN